

報道用資料
PRESS ONLY

おおぞら高校

広域通信制・単位制高校

屋久島おおぞら高等学校

サポート校

おおぞら高等学院

学校法人K T C学園

2023 年 7 月



なりたい大人になるための学校®

おおぞら高校

学校法人 KTC 学園

屋久島おおぞら高等学校

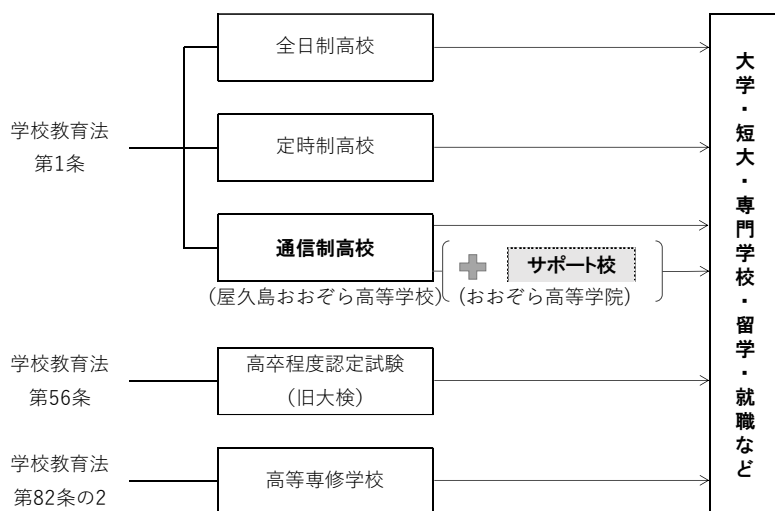
設立：2005(平成 17)年 4 月
所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町平内 34-2
校長：茂木健一郎(もぎけんいちろう)
設置過程：通信生・単位制
生徒数：11,429 名(2023 年 5 月現在)

学校法人 KTC 学園

おおぞら高等学院

設立：2002(平成 14)年 4 月
所在地：愛知県名古屋市中村区椿町 12-7
学院長：小林英仁(こばやしひでひと)
拠点：国内 46 キャンパス+海外 1 キャンパス

【現代日本における中学卒業後の進路選択肢】



【通信制高校の役割】…屋久島おおぞら高等学校

高等学校には、全日制、定時制、通信制という 3 つの課程があり、どの過程においても「3 年以上高校に在籍すること」「74 単位以上修得すること」「学校行事に決められた回数参加すること」をもって高校卒業資格を得ることができます。

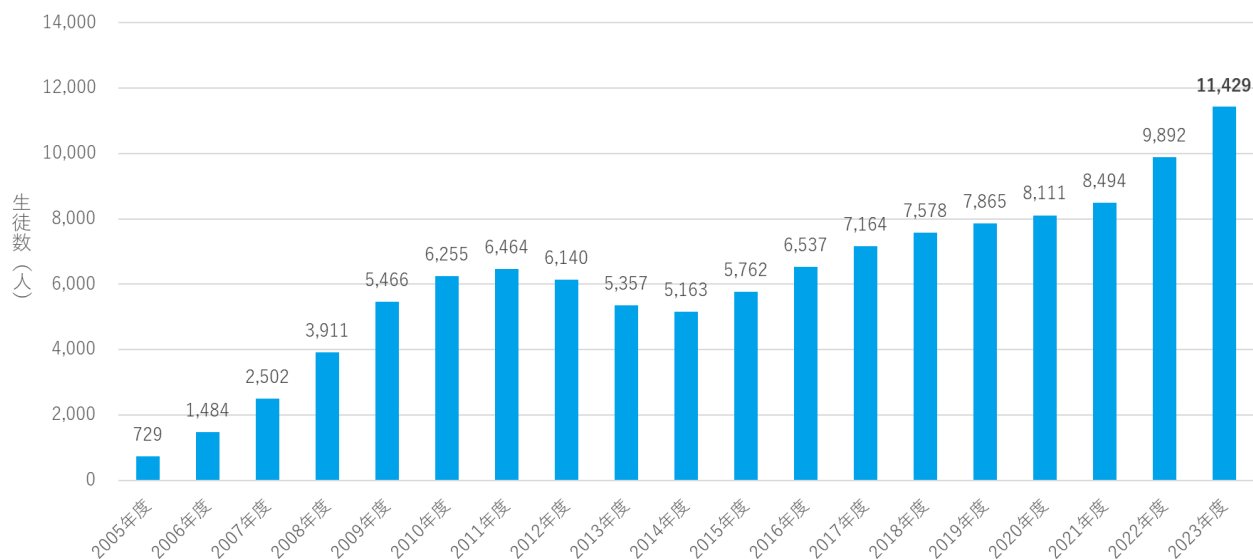
通信制高校では、単位習得にかかる時間が流動的にできる利点を活かし、特色ある教育内容を実現できます。多くの生徒が通う全日制普通科高校に代わる選択肢として、近年通信制高校を選択する生徒が増加しています。明確な夢に向かって専門的なことを学びたい人、スポーツに専念したい人などが在籍しているケースが少なくありません。最近は「通信制」でありながら通学型コースを用意するなど、様々な学びのニーズにこたえる学校も増えてきています。

【サポート校の役割】…おおぞら高等学院

通信制高校は自学自習を基本とし、3 年以上の年月をかけて課程を修業します。ただし自由に学習を進められる一方で、日々の通学や学校生活がありません。

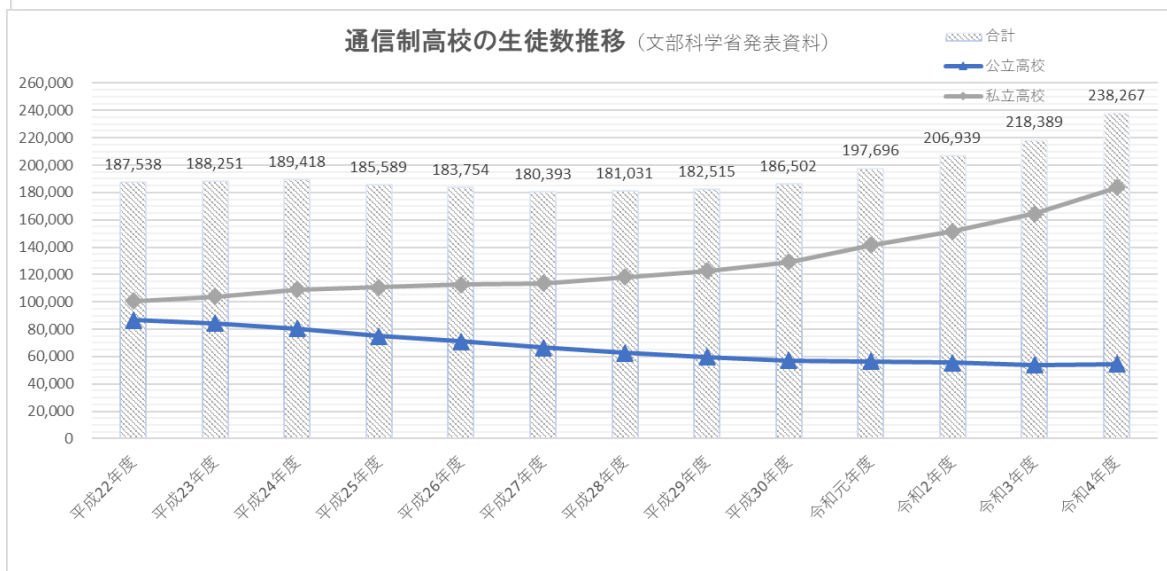
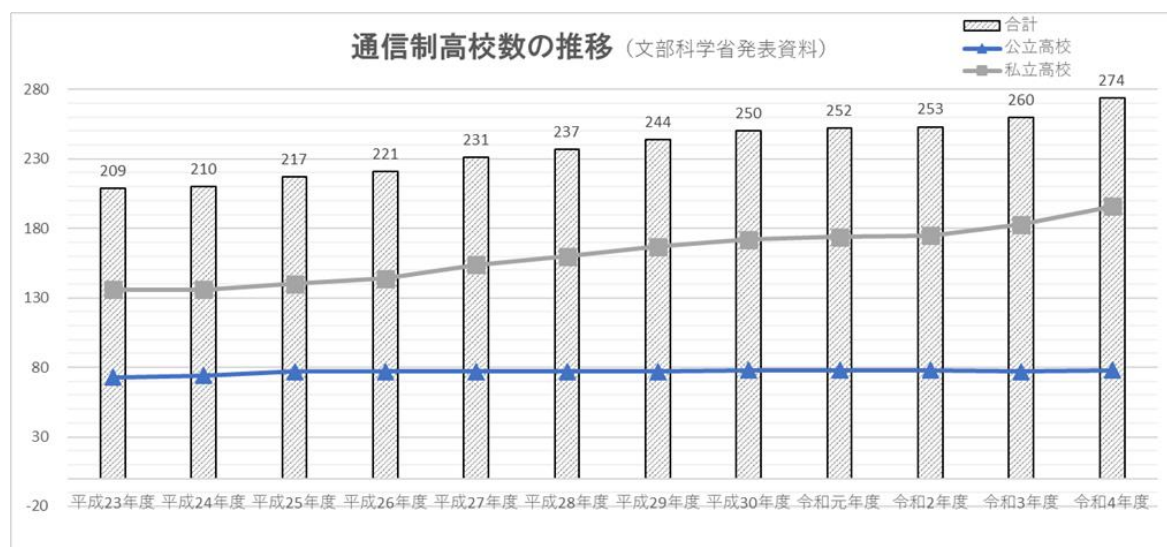
サポート校とは、通信制高校に在籍する生徒に対して、単位取得・進級などに必要とされる支援を行う民間の教育施設です。サポート校の運営は教育関連の民間企業や学校法人が行っているため、専門知識や技術を高校生のときから身につけるためのコースが設置されているところ、大学進学に力を入れているところなど、それぞれに運営母体の強みを生かした特色があり、近年活用が活発になっています。生徒の多くは「学校に通いたい」「先生やクラスメイトと学生生活を送りたい」と願っており、通信制高校との連携、協力が進んでいます。

【おおぞら在籍生徒数推移】



【通信制高校数及び生徒数】

令和3年度の通信制高校の数は274校で、前年より14校増加、また生徒数は前年よりも20万人増え、約24万人に迫る。通信制高校の生徒数は全高校生約13人に1人にのぼるとされる。



【沿革】

2002(平成 14)年	通信制高校のサポート校として、K T C 中央高等学院開校
2005(平成 17)年	4 月世界自然遺産の屋久島に学校法人 K T C 学園 屋久島おおぞら高等学校開校(定員 2,000 名)
2007(平成 19)年	10 月鹿児島県議会で屋久島おおぞら高等学校が「屋久島の地域活性化に大きく貢献」と取り上げられる 定員 4,000 名認可
2008(平成 20)年	定員 7,000 名認可
2009(平成 21)年	屋久島おおぞら高等学校を題材したドラマ「いのちの島」(TBS 系列全国ネット)放映
2010(平成 22)年	定員 10,000 名認可 海外直営キャンパスをカナダのバンクーバーに開校。 キャリア教育プログラム「ドリームクラフト」(現「社会の架け橋プログラム®」)をスタート
2012(平成 24)年	卒業生累計 1 万名超 「K T C けん玉夢基金」が目標額の 200 万円に到達し、モザンビーク共和国大使館へ小学校建設費用として寄付
2013(平成 25)年	3 月スクーリング参加者累計が 3 万名を超える 4 月『茂木健一郎 特別授業』開催 10 月『茂木健一郎先生×木村秋則先生 特別授業』開催
2014(平成 26)年	11 月「おおぞら校歌プロジェクト」スタート
2015(平成 27)年	生徒による作詞、茂木健一郎先生作詞監修、WASABI 作曲による「おおぞら校歌」が完成 スクーリング参加者累計が 4 万名を超える
2016(平成 28)年	1 月『茂木健一郎先生 特別授業』を開催 開校 10 周年記念セレモニー開催
2018(平成 30)年	サポート校を K T C おおぞら高等学院へ名称変更
2019(令和 1)年	卒業生による成人式開催
2020(令和 2)年	開校 15 年記念卒業式
2021(令和 3)年	茂木健一郎校長就任 卒業生が累計 4 万名を超える
2022(令和 4)年	定員 15,000 名認可 サポート校をおおぞら高等学院へ名称変更

※定員は、学校を認可した都道府県で(私学審議会の諮問の上)知事により認められた収容生徒数

【脳科学者 茂木健一郎が 2021 年 4 月 1 日より新校長に就任】



校長就任のご挨拶

2013 年春、屋久島で初めて特別授業を行ったのをきっかけに、8 年間に渡って屋久島おおぞら高等学校との関わりは続いております。これまで、多くのおおぞら生たちと触れ合ってきました。屋久島一周ツアーや古代米の田植え、「奇跡のリンゴ」著者木村秋則さんとの特別授業。その中でも何より思い出深いのは 2015 年冬に同校生徒たちと共に校歌を作詞したことです。有志の生徒たちが互いに意見を出し合い、認め合いながら母校の校歌をつ

くりあげました。その校歌をこれからは生徒たちと一緒に歌う立場になりました。

人工知能やグローバル化などで変わりゆく世界で、屋久島おおぞら高等学校の生徒さんたちが自分の脳のすばらしい可能性をのばして学びを深めるお手伝いができると思います。一人ひとりの個性を活かし、他者とのかかわりの中でお互いに響き合うために、一緒に学んでいきましょう。とても楽しみです！

<校長プロフィール>

茂木 健一郎（もぎ けんいちろう）

1962 年東京生まれ。脳科学者。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。東京大学理学部、法学部を卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程を修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。「クオリア（意識のなかで立ち上がる、数量化できない微妙な質感）」をキーワードとして、脳と心の間を探求し続けている。『脳と仮想』（2004 年、新潮社）で小林秀雄賞を、『今、ここからすべての場所へ』（2009 年、筑摩書房）で桑原武夫学芸賞を受賞。

<就任までの経緯>

この度新校長となった茂木健一郎氏と屋久島おおぞら高等学校との関わりは長く、2013 年 4 月の特別授業初開催以降、同年 10 月には「奇跡のリンゴ」著者木村秋則氏との特別授業、2016 年・2017 年にも同校生徒たちに向けた授業を実施。また、2014 年の開校 10 周年記念として実施された「おおぞら校歌プロジェクト」にも参加し、同校校歌の作詞監修を担当しました。

2013 年 「茂木健一郎 特別授業」 初開催

2014 年 「おおぞら校歌プロジェクト」スタート

2016 年 茂木先生の「屋久島おおぞら教室」

2017 年 特別授業屋久島一周コース



校長としての活動

<茂木校長の #なりたい大人 白熱授業 開催>

脳科学者である茂木校長とおおぞら高校生、ならびに著名な方々の対談を全国の中高校生に向けてオンラインで授業の配信を行っています。キャンパスに通うおおぞら高校生とオンラインでつなぎ、本音で話してくれる校長に生徒たちもとても喜んでいきます。 <https://www.ohzora.ac.jp/principal/seminar.php>



	2021 年度	2022 年度
第 1 回	一人ひとりが自分の正解を持ってい！	親には言えない！高校選びのホンネ
第 2 回	脳なんでも相談室	ワクワクを創るまなび、STEAM 教育とは？ ゲスト：中島さち子さん(ジャズピアニスト・ 数学研究者・STEAM 教育者)
第 3 回	西野 亮廣×茂木 健一郎 の白熱対談～中高 生のいま、やっておきたいこと～ ゲスト：西野 亮廣さん（絵本作家）	親と子の進路選択 それぞれの想いと葛藤 ゲスト：中江有里さん
第 4 回	大学でまなぶこととは？ ゲスト：池上高志さん（東京大学 教授）	絶景のもつチカラ～全身で感じ、学ぶ～ ゲスト：詩歩さん(「死ぬまでに行きたい！世 界の絶景」プロデューサー)
第 5 回	個性の生かし方 ゲスト：海音さん（おおぞら高校卒業生、モデル）	社会を変えるため、今私たちにできること ゲスト：たかまつななさん(株式会社笑下村塾 代表取締役)
第 6 回	高校生×茂木健一郎「みらいの幸せと個性」脳 科学者に聞く 10 の質問	あなたに贈る言葉の花束～母の言葉と明日への 思い～ ゲスト：サヘル・ローズ さん

<なりたい大人作文コンクール 特別審査員>

2019 年よりおおぞら高校で主催している「全国おおぞら中学生 なりたい大人作文コンクール」の特別審査員を校長就任後の第 3 回から努めていただいています。

脳科学者の視点から、中学校時代に「なりたい大人」について考えることの大切さを説くとともに、現役中学生の「なりたい大人」に触れる事に対して純粋に楽しんでいただいています。

また、作文コンクールに応募してくださった中学校におおぞら高校の校長として出張型の#なりたい大人白熱授業を開催し、足立区の中学校に訪問して中学生に向けての授業も行いました。

<SDGs AICHI EXPO '21 登壇>

愛知県を中心とした実行委員会で主催する SDGs AICHI EXPO の 2021 年開催時に屋久島おおぞら高等学校の校長として基調講演を行いました。当日はおおぞら高校生もブース出展をし、それぞれが自分たちで調べた SDGs に関するプレゼンテーションを行いました。その様子を見た茂木校長からも「大人と肩を並べて発表する姿を誇りに思う」と話してくださいました。



【タグライン】

なりたい大人になるための学校。®

タグラインとは、おおぞら高校のブランドの存在意義や使命・立ち位置を示す一文です。

このタグラインは、2018年に設定されました。それまでのおおぞら高校で大切にしてきたことや当時在籍していた生徒、保護者、スタッフから出てきたおおぞらの想いを一言にまとめています。

おおぞら高校は高校卒業のその先のみらいのなりたい大人を描けるように生徒を支えています。

【教育理念】

おおぞらは「センバス教育」を教育理念としています

センバス教育は、より良いみらいづくりに目をむけた自然・仲間、そして自分自身についての"探求"の取り組みです。しかしその探求は、一般的な教室において人から教えられるような座学ではなくて、本物を味わう直接体験による学び合いが軸となっています。

直観力

五感を通して物事の本質を見極め、
自分で判断する力
※≠直感力

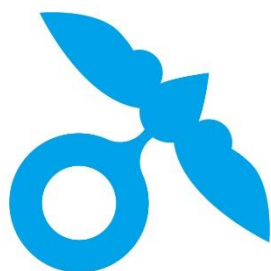
共感力

コミュニケーションを通して相手の気持ち
に寄り添い、周りと協働する力

「センバス」とは

センバスとは、ラテン語の「SENSUS（感覚）」と「VIVUS（生活）」からとった造語。人と人、人と自然が、もっとももっとつながれば、人の、暮らしの、未来を希望に変えられるという想いが込められています。

【シンボルマーク】



このシンボルマークはおおぞら高校 屋久島本校の校舎を模しています。
この校舎はおおぞらへ羽ばたく鳥を表しており、その姿はさながらこれから社会に旅立つ生徒を表しています。

【おおぞら高校の特長】

<マイコーチ®>

学校が生徒の担任を決めるのではなく、生徒自身が自分の担任の先生を選ぶことができます。

マイコーチは生徒と1対1の関わりを大切に、一緒に日々伴走をしながら生徒の「なりたい大人」をサポートしていきます。

<KTCみらいノート®>

おおぞら高校の生徒全員が持っている「みらいノート®」は、日々の「好き」を集め、深めていくことができるノート。日々学校生活でもマイコーチ®のサポートを受けながら書き込むことで、生徒の生きていく上での価値観や大切にしたいことをより明確にしていきます。

<屋久島スクーリング>

おおぞら高校の本校は世界自然遺産に登録されている屋久島にあり、生徒は1年に1度屋久島でスクーリングに参加します。その場所でしか出会えない全国から集まった生徒や屋久島での時間を支える先生、そして自然と向き合うことで、今までの自分とは違う自分を発見し、直観力や共感力を育みます。

屋久島スクーリングの評価と分析
についてはこちら→



【学科】

おおぞら高校には二つの学科があり、それぞれの特長があります。

おおぞら高校

みらい学科

子ども・福祉コース

進学コース

基礎コース

つながる学科

ジブン探求コース

プログラミングコース

個別指導コース

住環境デザインコース

マンガイラストコース

みらい学科™ 【通学】

〈さまざまな体験型プログラム〉

- ・ 未来の架け橋レッスン®

生徒の「好き」を見つけ、増やすことができる様々な分野の実体験型レッスン。

- ・ 社会の架け橋プログラム®

自分の「好き」を通して様々な分野で活躍する大人の話を聞き、時には現場での体験、地域活動への参加など、実際に社会とつながる経験をしながら生徒の「好き」を社会につなげていきます。

- ・ 世界への架け橋プログラム

おおぞら高校に在籍をしながら1週間から最大22週間まで海外体験ができるプログラム。

つながる学科 【通信】

〈屋久島つながるゼミ〉

リアルタイムで屋久島とつなぎ、「世界自然遺産の島での自然の共生」など屋久島に関わるテーマについて、現場の取材をもとに学びます。

〈つながる実習オンライン〉

「屋久島つながるゼミ」で学んだことについて、一緒にリアルタイムで取材や調査を行い、先生や他の仲間とのディスカッションを通して全国の生徒と交流をしていきます。

【隈研吾設計 新校舎建設】

おおぞら高校の在籍生徒数が2023年5月に11,429名を超えました。生徒数の増加に伴い、屋久島本校の新校舎の増設が決定し、その校舎の設計を建築家の隈研吾氏が手掛けます。屋久島本校のある平内地区は屋久島の南部に位置しており、新校舎は現校舎と宿泊棟の更に南、太平洋とモツチョム岳が見渡せる場所に建設されます。

※新校舎は2025年8月竣工、10月オープン予定



屋久島本校を視察する隈氏

設計者を選定するにあたりおおぞら高校が大切にしていたポイントは以下の3つです。

1. 屋久島の場所性を大切にし、ここでしかできない特別な体験を提供すること
2. 校舎に子どもたちへのメッセージを込め、それを社会に向けて発信できること
3. 日本国内だけでなく、世界への発信力を持っていること

この3つに当てはまり、またご自身の設計思想が私たちが期待する新校舎のビジョンと重なるものだと確信し、実績及び発信力については言うまでもなく申し分ない方ですので、屋久島でのスクーリングという子どもたちにとって一緒にのたからものになる体験を提供するための校舎を、ぜひ隈研吾氏に設計していただきたいと考え、設計を依頼しました。



2023年6月 茂木校長が隈研吾氏の事務所を訪れ、対談を行いました。

【プレス一覧】

2019 年 4 月 第 1 回なりたい大人作文コンクール

2021 年 4 月 茂木健一郎校長就任

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20210319-170000.php>

2021 年 10 月 おおぞら高校 CM 完成「テーマ：おおぞらしいって何だろう」

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20211030-180000.php>

2023 年 2 月 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の途上国支援「世界寺子屋運動」贈呈式

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20230221-160000.php>

2023 年 4 月 おおぞらカレッジと近畿大学九州短期大学通信教育部保育科が提携開始

<https://newscast.jp/news/5572180>

2023 年 6 月 建建築家・隈研吾氏と茂木健一郎校長対談 屋久島新校舎設計キックオフ

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20230529-170000.php>

(※校舎完成 2025 年 10 月予定)

【登録商標一覧】

なりたい大人になるための学校®。

マイコーチ®

KTC みらいノート®

みらいノート®

みらいの架け橋レッスン®

社会の架け橋プログラム®

つながる場所、つなげる場所。なりたい大人になるために®。

つながる場所、つなげる場所®。

※メディア掲載の際は上記を参考に表記をお願いいたします。



なりたい大人になるための学校。®

おおぞら高校

学校法人 KTC 学園

屋久島おおぞら高等学校

学校法人 KTC 学園

おおぞら高等学院

本資料は、報道関係の皆様のご取材の便宜を図る目的で作成されております。
資料についてのご質問、お問い合わせは下記まで。

学校法人 K T C 学園 広報

東京) 東京都新宿区西新宿 8-13-6 日東ビル別館 1F (〒160-0023)

TEL : 03-3367-5066

名古屋) 愛知県名古屋市中村区椿町 12-7 7F (〒453-0015)

TEL : 052-451-3223

URL : おおぞら高校 <https://www.ohzora.net/>

屋久島に関する問い合わせ先

e-mail : pr@ohzora.ac.jp

サポートキャンパスに関する問い合わせ先

e-mail : pr@ktc-school.com